

平成31年度予算に対する討論(要旨)

3月22日の本会議最終日に、予算審査特別委員長が審査結果の報告を行いました。その後、各会派が31年度一般会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計、東武東上線連続立体化事業特別会計の各予算について、討論を行いました(下記に予算に対する各会派の態度と要旨)。

地域住民が主人公となる地方政治を

共産党

(反対)

31年度予算は、国政の影響を受ける区民の暮らしを支える予算となっていない。以下、反対理由を具体的に指摘する。まず第一に、消費税増税と国民健康保険料の増大は重大問題である。増税により、中小企業にはリーマンショック並の影響があり、行政運営にも深刻である。増税反対こそ区長の政治責任である。国民健康保険料は低所得者向けの減額・免除制度の拡充を。第二に、区民の福祉と子育て、暮らしを優先した予算となっていない。保育施策では認可保育園の増設を規制緩和によらず、公設公営増設や民間認可保育園への支援策の強化などで積極的に行うべき。介護制度および後期高齢者医療制度は、区独自の負担軽減策を。学校教育においては、学習環境格差をなくすことが必要。また、外壁・屋上防水改修の問題を優先すべき。防災とまちづくりでは、地震ブレイカーおよび家具転倒防止機器の普及に予算をかけ予防対策として全力を挙げるべき。

板橋区基本計画の中間期、施策や各種事業の充実と財政基盤確立の取組みを

自民党

(賛成)

31年度予算は、国の税源偏在是正の影響による減収が見込まれる中、2年連続で収支の均衡が図られたことを評価する。また、高い福祉費の構成比、高い経常収支比率による財政硬直化の進行に対し、財政構造改革に取り組むことを要望するとともに、以下、主要事業について意見を述べる。リーディングスキルテスト導入では、他の学力向上施策との相乗効果が得られる展開を。児童相談所開設に向け、切れ目のない支援と迅速な対応といった区の強みがいかにせる児童相談所に。(仮称)発達障がい者支援センター開設に向け、センター長に最適な人材の確保を。都立城北中央公園でのオリンピックテニラ開催を通じ、陸上競技場整備実現に向けた機運醸成を。大山や高島平のまちづくりでは、丁寧かつ真摯な説明で住民の理解と協力を得る努力を。クラウドファンディング型ふるさと納税は、対象3事業ともに寄附が集まる工夫と努力を。

一人ひとりの暮らしの視点に立った区政運営を

無所属

(反対)

31年度予算は、前年度と比較して一般会計は3.3%増となっている。以下、予算に対する反対理由について指摘する。高島平をはじめ、まちづくりの外部委託化に問題がある。人材へ投資をし、先進事例を若手職員に視察させるなど熱意を持って取り組み、付加価値を生む人材の育成を。地域団体を育てるための予算を計上し、魅力的な地域づくりを。言葉だけ並べるのではなく、意味のあるものを創るという視点での行政運営を。子どもの居場所づくり活動支援事業は、地域団体をいかにした進め方を。子ども食堂への運営支援には、区独自の支援策の実施を。住民主体の通いの場については、賃料とコーディネートの人件費相当分への補助を。いたばし総合ボランティアセンターについては、基本構想を無視した進め方ではなく、住民やNPOが主体となり今後のあり方を検討すべき。子どもの権利を尊重するための「子ども会議」を早急に実施すべき。保育料については、すべての保育サービスの1日あたりの利用料に格差がないように是正を。縦割り行政の打開を早期に実現し、共生施策の推進を。

将来需要や財源推移を考慮し、責任ある行財政運営を

公明党

(賛成)

31年度予算は、特別区民税や特別区交付金の増収が見込まれるが、歳入環境の改善が想定されるが、今後の財政状況の悪化につながる課題は山積みであり財政運営は楽観視できない。以下、各分野の事業について意見と要望を述べる。未来を長くむかいたかいたまちは、リーディングスキルテストの導入や小中一貫教育の推進を評価する。全児童・生徒対象の無料の学習支援や、居場所を兼ねた学習支援の拡充を。待機児童対策に向けた保育所整備を評価するが、新しい切り口での対応策の実施を。産後ケア事業の拡充や予防接種補助の拡充、フレイル予防事業、区立保育園での使用済み紙おむつの回収、学校体育館へのエアコン設置を高く評価する。医療的ケア児の短期入所施設の整備と認可保育園での受入れを。いきいきかがやく元気なまちは、美術館の大規模改修を評価するが、カフェを館内に設置し障がい者の雇用促進を。プレミアム商品券発行を評価するが、あわせて新婚世帯クーポン券の発行を。安心・安全で快適な緑のまちは、屋外案内標識の整備や自転車シェアリングシステムの導入、防犯カメラ維持管理経費への助成、児童通話録音機の配布を評価する。

庶民目線での区政経営と行財政改革による無駄のない運営を

市民クラブ

(賛成)

31年度予算は、歳入環境が改善したとはいえ、保育施設整備や学校などの公共施設更新といった課題を抱える中、財政状況は厳しくもある。弱者救済の視点を忘れることなく、行財政改革を進める努力が必要である。以下、各項目について意見を述べる。総務費については、史跡公園整備予定地取得にかかる事実関係の検証を。高島平グラウンドデザインについては、住民自治を大前提とした方向性の提示を。板橋駅前B用地や大山駅周辺の再開発については、区民や商店街の意見を最大限に尊重した計画の見直しを。産業経済などの拠点として旧保健所の整備を。正規職員の定数は、業務量に応じた増員を。1期4年ごとに支給される区長の退職金廃止と、予算決算総括質問における区長答弁の実施を。No.1実現プラン2021の効果額は粉飾との疑念を持たれかねないため、計算方法の見直しを。福祉費については、31年度中に待機児童ゼロを達成できる対策を。子ども家庭総合支援センターの設置に向け、万全の人員体制と施設整備を。教育費については、沖縄での中学生平和の旅の実施を。修正動議については、子どもの貧困対策や地域経済活性化のために重要と考える。

厳しい財政状況の中スクラップアンドビルドを基本に効果的な施策展開を

民主クラブ

(賛成)

31年度予算は、前年度比3.3%増で、特別区交付金、特別区税も増額が見込まれる。区は国の政策効果により景気回復基調が維持されると財政を見通すが、勤労統計の不正など国の指標や政策効果はあてにならない。むしろ税制改正や、幼児教育・保育の無償化経費の押付けなど、国による自治体への負担増に危機感を持つべきである。柔軟で効果的な施策展開ができるようスクラップアンドビルドを進め、事業仕分けによる適切な財政運営を求める。以下、主要事業への意見を述べる。クラウドファンディング型ふるさと納税制度をさらに拡大し、実現性ある方式で実施を。受動喫煙防止では、屋外喫煙所の設置拡大を。入札では、予定価格の積算の十分な検討を。新たな施設利用管理システム導入では、利用者への適切な説明を。パブリックシティとの提携30周年事業では、子どもまで交えた交流ができるよう工夫を。幼児教育・保育の無償化では、国に対し財源確保の十分な交渉を。児童相談所設置では、人的な配置について十分な準備を。大山駅前広場構想は、住民意見を取り入れ柔軟に計画策定を。学級崩壊の対応では、解決に向けて子ども家庭支援センターなどと連携した対応を。

区民生活を第一に考えた行政運営を

無会派

(賛成)

31年度予算は、一つ一つの政策については賛成できるものも反対であるものも様々である。しかし、区民の生活、命と健康や人権と秩序に害をもたらす重大な瑕疵・欠点がない限り、予算を通すのは妥当だと考える。区民要望や区民生活の実態に照らせば、予算案には足りない部分や必要でない部分などもある。是正が必要な部分は、予算執行の段階で議会がしっかりとチェックおよび検証を行い、補正予算や次期の予算案に反映させることが民主的な行政のあり様だと考える。修正動議については、良い提案もあるが実現すべき施策と考える提案があるのであれば、実施までの課題整理や区民意見の集約、議会内や行政現場との合意形成など、やるべきことが多くあったと考える。区民のためを考えた提案であっても、安定して実行できる根拠と保障がなければ踏み出すべきではない。特別会計では、国民健康保険事業、介護保険事業、後期高齢者医療事業のいずれも財政的に苦しい運営が続いている。早急に抜本的改革が必要。東武東上線連続立体化促進事業のための特別会計新設は歓迎する。人命第一に踏切りの解消に向け着実に進めることを求める。

以上により、31年度一般会計および4特別会計予算案に賛成し、修正動議に反対する。